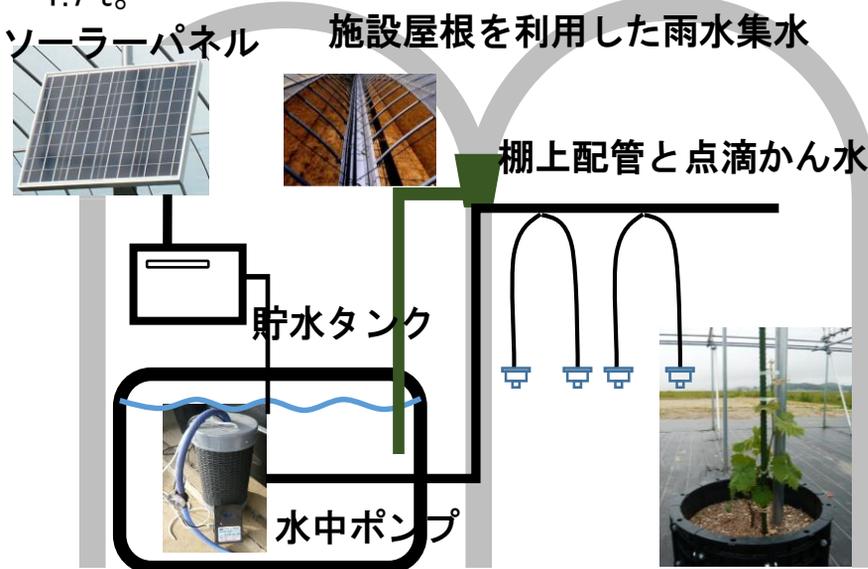


雨水を利用したブドウ「シャインマスカット」の根域制限栽培システム

技術の概要

- ①本栽培システムは雨よけハウスに蓄電式ソーラー自動かん水、根域制限、雨水集水の3つの技術を組み合わせた技術です。設置場所の土壌の影響を受けず、電力未供給地帯でも自動かん水できます。
- ②雨よけハウスの費用に加えて10a当たりの設置費用は、日射比例自動かん水費(437,982円)、根域制限栽培設置費(1,360,480円)、雨水集水費(891,500円)の合計2,689,962円(平成28年)。
- ③本栽培システムの10a当たり収量は、定植2年目0.1 t、定植3年目0.7 t、定植4年目1.7 t。



期待される効果

- ①電力未供給地帯であっても自動灌水が可能。
- ②水源の確保が難しい場所でも栽培可能。
- ③土壌の影響を受けないため大規模な土壌改良が不要。
- ④早期成園化が可能。

成園化の目安は慣行の雨よけ地植え栽培で定植後6年～7年、本栽培システムで定植4年目。

【お問い合わせ先】

宮城県農業・園芸総合研究所 TEL:022-383-8134